

隈部館跡

菊鹿町東北東の山腹、標高340mほどにある隈部館跡は戦国時代にこの地を広く治めていた隈部氏の居城である。

大正15年に起こった「肥後衆一揆」の中心人物であった隈部親永公が隈府城（現:菊池神社所在地一帯）に移るまでの本拠としていた。

現在も館跡中心部の平場に、園庭をはじめとして、少なくとも3棟分の建物の礎石が残り、さらに平場の「馬屋跡」と伝えられる張り出し区画や、登城口は柵型になっているなど、当時の様子を伝えている。